

MOGMOGレポート

ナガトマト学習会

11月27日 青井ブロック委員会

(株)ナガトマト 東京支店から講師を招き、足立センターで開催された学習会。楽しく有意義な学習会でした。

「近年の天候不順によりトマトの収穫は難しく、昨年夏は酷暑で加工用トマト『愛果』の収量も多くなかった。ただ、幸いにも東都生協の分は確保できた」というお話も…。おかげで2020年度収穫トマトのジュースが昨年末から供給されています。

トマトはグルタミン酸が多く、栄養バランスに優れた野菜ですが、加工用トマトはさらに栄養価が高く、ギャバやリコピンも豊富なのだとか。参加者からは、「知らないことをたくさん学べて、商品選びや調理の参考になった」「健康のために意識して使いたい」などの声がありました。



楽しく有意義な学習会でした。



講師の上村萌さん

いつまでも健康で 若々しいお肌で…

11月27日 南荻窪ブロック委員会

(株)クラブコスメチックスから菊池さん、佐藤さん、丸山さんを講師に、コープ化粧品の講習会を開催。季節や年齢に負けない肌づくりをマスターしたいと、化粧落としからマッサージ方法、基礎化粧品を使つての実践に、参加者みんな真剣勝負!! ファンデーション選びでは、意外な色が自分に合うという発見も…。

コロナ禍でマスク生活が続き、おろそかになりがちなお肌のケアに、若かりし日の自分を取り戻したいと笑顔もあふれます。「肌に優しくて安心」「求めやすい価格帯」とコープ商品は大人気。マスク生活はいつまで続くかわかりませんが、健康で若々しいお肌をいつまでも保てますように。



お手入れの仕方、マスターしましょう!



暮らしに花を ハーバリウム作り講習会

11月29日 奥沢ブロック

今年度はコロナ禍で活動が休止となっていたが、ようやく企画を開催。生活に彩りを取り戻そうと、人材バンク講師の大佛千恵子さんから花いっぱいハーバリウム作りを教えてくださいました。当日は感染防止のルールに沿って少人数で行いました。

それぞれにすてきなハーバリウムを完成させた参加者たち。「短時間で華やかなハーバリウムができた」「お手軽ながら満足いく作品ができた」とのうれしい感想が聞けました。



色とりどりの、オンリーワンのハーバリウムが完成!

表示読み解き力を付けよう*食品添加物の学習会「入門編」

12月12日 第2地域委員会 講師：商品部・吉澤正義さん

加工食品の原材料表示が見やすくなりました。食品添加物を原料と分けて記載されるよう義務付けられたためです。入門編では、表示を読み解くポイントを学習しました。



入門編は希望者多数で抽選に。

生乳・卵なしでもプリンができる?
プリン4商品の原料を比較しながら、添加物を使う目的を読み解きます。原料を少なくするために「水」に置き換え、添加物で「色、とろみ、香りをつける」などすると、なんと生乳や卵を使わなくてもプリンができる! コストを抑えたいメーカーの意図が見えてきます。*日本では「水」を表示しなくて良い。

使用目的を知ろう
流通過程での品質保持など、衛生面で必要な添加物についても確認。添加物を使う利点と使わない場合のリスクを「pH調整剤」などを例に学びました。また「わたしこだわりのハムは、添加物の使用を避けるために肉の品質選びや工場の衛生管理を徹底。誠実な取り組みを知り、信頼感が増しました。安全性を保つ目的なのか、コストを下げるための使用なのか、消費者に利がある添加物なのか見極める読み解き力を身に付けたものです。食品添加物への理解を深め、認識をあらためた学習会でした。」

「参加者の感想から」「東都生協の加工食品を大幅に見直した!」「添加物使用が商品価格に反映していることにあらためて気付かされた!」「pH調整剤のイメージが変わった!」「添加物は危険だと思っていたが考えが変わった!」これから表示をよく見ます!」



事例満載。中級編も期待大。



2020年度第8回定例理事会 2020年12月16日開催

〔審議事項〕
●2021年度活動方針・事業計画・予算および業務組織機構の大綱確認の件
●2021年度商品事業に関する委員会等活動計画および関連諸規定の一部改正の件
●土づくり基金の拠出者への返還および新規貸出し停止の件
●個配手数料制度の見直し
●の件
●調布、城西、足立センター冷凍蓄冷剤の導入と導入に伴う設備費用支出の件
●2021年度保育ママ委員会設置の件
●2020年ビジョン(第1次案) 確認の件

〔報告事項〕
●組合員活動委員会報告
●商品活動関連報告
●保育ママ活動休止中の一部保育費用補助の件

今後の理事会日程(予定) 3月18日(木)、4月22日(木)

12月のわたしたち

2020年12月20日現在 ※ []内は前年比

組合員数	259,071人	[104.1%]
加入	17,298人	[129.9%]
脱退	6,634人	[57.5%]
総事業高	28,373,897千円	[122.9%]
共同購入事業	27,486,876千円	
弁当配食事業	236,542千円	
生活文化事業	31,339千円	
生活支援事業	53,378千円	
その他事業	565,761千円	
出資金	6,612,316千円	[100.4%]
1人当たりの出資金	25,523円	[95.7%]
1人当たりの利用高	6,423円	[118.8%]

東都生協NO₂測定濃度分布図(2020年12月)

2020年12月3日~12月4日に測定したNO₂(二酸化窒素)の測定結果

東都生協は身近な所の空気を実際に測り、自分たちで確かめ、きれいな空気を取り戻すにはどうすれば良いかを考えていただくことを目的に、1988年から二酸化窒素NO₂測定活動を実施し、測定結果を「大気汚染測定運動東京連絡会*」に提供しています。この連絡会では生協の他、さまざまな団体から集めた測定結果を基に、大気汚染の改善を求めて運動を展開。毎回の地道な測定活動の積み重ねが、大きな運動を支えています。

測定日の概要

測定日時: 2020年12月3日(木)午後6時~12月4日(金)午後6時(前後2時間を有効)
天候: 12月3日(木)曇り 平均風速: 2.1m/S 12月4日(金)晴れ 平均風速: 2.1m/S

測定規模

- 参加人数: 236人
- カプセルの配布数: 247個
- カプセルの返却数と回収率: 219個 (88.7%)
- 有効とした測定数と回収率: 167個 (67.6%)

測定結果

①今回の測定結果は以下の通りです。過去5年間に測定した12月の平均濃度(0.023ppm)より少し低い数値になりました。*()は前年

全体: 0.020(0.019)、東京23区: 0.022(0.022)、東京多摩地域: 0.019(0.021)、埼玉県: 0.019(0.017)、千葉県: 0.021(なし)、神奈川県: 0.021(0.014)

②部内の大気汚染常設監視測定局が測定したNO₂平均濃度は、以下の結果でした。

道路沿い: 0.025ppm、住宅地: 0.019ppm

*環境省が定めたNO₂の基準値は「0.04~0.06ppmのゾーン、またはそれ以下であること」とされています。

大気汚染測定運動東京連絡会

大気汚染測定運動に参加する各地域実行委員や団体の自主的な活動を基盤とする連絡会です。きれいな空気を取り戻し、健康と環境を守り、大気汚染による健康被害を防ぐことを目的に活動を進めています。東京連絡会全体で取りまとめた測定結果は、東京都や環境省に報告され、有害物質の排出抑制を進めるための貴重なデータとして活用されています。

